

夢を育て、力をあわせてはばたこう！

2010年 5月 15日発行

カ ム ニ テ イ ー

翔夢 N I t y

NO. 31

特定非営利活動法人 『翔夢』
障がい者ふれあい交流センター

〒547-0031

大阪市平野区平野南3-8-16

TEL (06) 6760-6167

<http://www.npo-cam.org/>e-mail: nandemosoudan@npo-cam.org

特定非営利活動法人 翔夢

相談支援事業

ホープネット

TEL (06) 6760-6167 FAX (06) 6760-6168

就労継続支援事業

ドリームネット

TEL (06) 6760-6181 FAX (06) 6760-6182

地域活動支援センター

ハートネット

TEL (06) 6760-5343 FAX (06) 6760-5344

生活介護事業

ジョイネット

TEL (06) 6155-9901 FAX (06) 6155-9902

表紙の写真は、ベリーカップでの試合風景です。

も く じ

- P 1 表紙
- P 2 こころの病気基礎講座
- P 3 ベリーカップ
- P 4・5 ... こころのぼかぼか講座
- P 6 第三取り組み
- P 7 メンバー紹介
- P 8 メンバー紹介・お知らせ

ADHDの病気基礎講座

ADHD

(注意欠陥多動性障害)とは

今回は、前回列挙された障がいの中から、近年、社会的にとりあげられ話題にされることの多くなったLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)のうち、間違った情報で氾濫し、障がい当事者がまわりから誤解されることの多いADHDについての話をしていきたいと思います。

ADHD(注意欠陥多動性障害)とは、落ち着きが無く動き回るといった特性の多動性、注意力が散漫でひとつのことに意識が集中できないという特性の不注意性、突発的な行動が多いという特性の衝動性を主たる症状とする発達障害のひとつと言われていますが、行動障害の一分

類とする説もあります。落ち着

く、じつとして等々の社会的ルールが求められる、小学校入学前後に発見されることが多く、少し前までは親のしつけが悪い子供、性格的に行儀の悪い子供として認識されてきました。現在では、遺伝的要因または脳の器質的要因があると考えられ、親の育て方とは無関係であることがわかっています。しかし、現在でも誤った知識により、親の育て方や本人の資質に原因を求める方も大勢います。

ADHDの人々は注意力を維持しにくい、時間間隔が人とずれている、様々な情報をきちんとまとめあげるのが困難などの特徴があり、そのことが日常生活

に大きな支障をもたらすことが多々あります。しかし、生活の環境を整えたり、周りの人から適切なサポートを受けることにより、日常生活に困難を抱えず普通にすごしていく人もいます。とはいえ、本来は脳機能の障害であり、大多数のADHDの人にとって、本人の努力や周りのサポートだけで対処し、困難なく生活していくのは難しいのが実際です。

この障がいは、年齢が上がるにつれ見かけ上の「多動」が減るため、収まっていく障がいだとされ、以前は子供だけの障がいだと思われていました。

しかし、近年は大人になっても残る障がいであると認知されています。その場合は多動的な面は消え、感情的な衝動性や注意力、集中力の欠如といった形で障がいが見れることが多くなってきました。そのため、表立った障がいが見えにくく、まわりに理解されずいたため、生

きていく事に困難を抱え自分を責める人がいたり、自責の念に耐え切れず精神の病を発症する方も大勢います。

現行の福祉の分野では、ようやく発達障害者支援法が成立し、学校の現場では支援の広がりが見られるようになってきました。しかし、成人のADHDに関してはようやく世間的な認知が始まったばかりで公的なサポートがほとんどなく、一部自治体やNPO法人といったところが支援を始めた段階であります。

ADHDの人々の生活の安定のため、今後更なる障がいに関する世間的認知の高まりと支援の輪が広がることを願うばかりです。(六車)



第14回 ベリーカップ

～健闘むなしく2戦2敗～

まだまだこれからのチームです

が雨で流れる事態となりましたが、順延として九日に無事開かれました。翔夢からは昨年にメンバーの声から立ち上げられた『ソフトボールクラブ』からの出場となり、メンバー主導のチーム編成が組みられました。

試合当日、選手、応援者で二十三人が集まり現地へ向かいました。前日の練習で筋肉痛に

春の一大イベント、『ベリーカップ』が開催されました。これは精神障害を持つ方が通う作業所を対象としたソフトボール大会で二日間にわたって開かれます。今年も天候に左右されてしまい、初日の二日

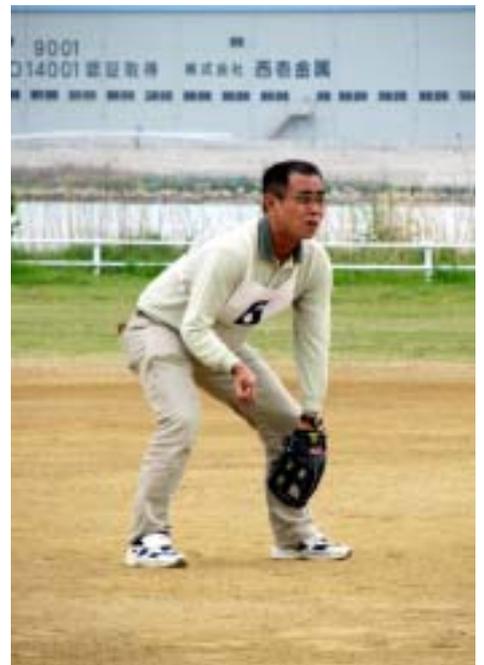


なっている選手もいましたが、緊張と楽しみの顔が並びます。

第一試合はその緊張のためか、守備にも固さが見られ思うようなプレーにならないこともありましたが、ピッチャーをとめたIさんの落ち着いた送球に、見守る一同は安心とちよつとした驚きを感じました。なぜならこのIさん、昨年から翔夢に通いはじめた方なのですがなかなか思うような通所ができず、職員も当人も焦らないようにペースを探りつつ関わってき

ていました。その彼が今年に入って他の利用者さんと取り組み等で交流をもつようになり、徐々に自身の言葉を話すようになってきていました。そしてソフトボールクラブで最年少ということ、年長者の中で気遣いもあつたかもしれませんがピッチャーという大役を任されると、チームの様子を伺いながら一球一球丁寧に投げ出すようになりました。また、試合前日には電車に乗ることに不安を覚え、乗車の練習を行うなど、向かっていることに対して何が必要なのか自分で考え行動できるまでになっていたのです。

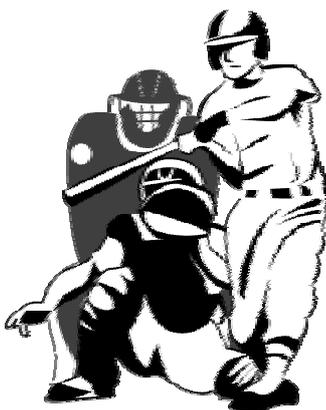
試合は惜しくも二戦二敗！野球を知っている人の少ないチームであったために手探りで始まったチームの初陣でもありました。二戦目では、体もあたたまりスムーズな動きを見せる場面も多々見られましたが、強敵



相手にヒット数本とホームラン一本のみに終わり相手チームの固い守備に敗退となってしまいました。

今は、試合二日目の『委員杯』を前に練習に励んでいます。これからの課題は「楽しむこと！ベストを尽くせる力をつけること！」をモットーに皆参加型を目指していきます。

(安河内)



『NITYのぼかぼか講座』

〜翔夢利用者の方が講演〜

三月四日・十一日、リアールひろのにおいて精神保健福祉ボランティア講座『ここ

のぼかぼか講座』が催され、その講座のプログラムの一環として十一日に、二人の障がい当事者の話を聞く場がもたれました。そのうちの一人として当施設の利用者さんが、障がい当事者として講演をしてまいりました。

ボランティアの講座を開くので、NPO法人翔夢の地域活動支援センターであるハートネットにも何か協力してほしいというお話自体は去年の年末ごろにいただいていたのですが、その時は具体的な話がなかったものでそのままになっておりました。しかし年が明け、大阪市平野区保健福祉センターの方から正式に講座への出席をハートネットに

要請され、準備を開始しました。

地域の住民の方を対象とした講座で、障がいのことを詳しく知らずボランティアとして学んでいる方には、より身近に感じられるような障がい当事者の声がよいだろうと職員の間で話がまとまり、とある若いメンバーの方に講座への出席を依頼しました。メンバーの方に話を受けていただくので、講演する内容を話し合った結果、幼いころから発症までの話と生活の現状と自分の今後の夢について語っていたことまではすんなりと決まったのですがそれらが大変でした。

講演することに決まったメンバーの方にとっては、自分のことを公に語ることは初めての体験ということで、まず

は人前に出るというこのプレッシャーを感じ、さらには自分の病気に関し、どこまで語るのかを決めるというプレッシャーを受けることになってしまいました。当のメンバーの方をサポートする職員にとっては、過去を振り返ることでメンバーの方に自分を客観的に見つめる目を持ってもらい、新たな気付きを得るとともに大勢の前に出ることによって精神的な成長を促してあげたい思いがありました。しかし時間がつたつにつれ、色々悩みを抱え徐々にプレッシャーに押しつぶされそうになるメンバーの方をどのようにサポートしていくか、また、どこまでサポートするかが職員の間での課題となって行きました。

何度もミーティングの機会を持ち、いろいろと職員同士で考えた結果、日々サポート

する職員同士が密接に話をし技術的にサポートする職員と、精神的にサポートする職員とが連携し当のメンバーの方との適切な距離感がとれるよう支援の体制を整えることにしました。

そのかいがあつたのか、メンバーの方も徐々に落ち着きをとりもどし、一番のネックであつた発症のことを含む自分の過去についての原稿を完成させていき、多少の波はありながらも講演への気持ちを固めていくことができました。

講座当日、先方よりうかがっていた講演の順番が直前になって変更されるといったハプニングがありながらも思ったよりメンバーの方も落ち着いて話せ、講演もスムーズに進みました。講演終了後には、参加されていた方から沢山の質問をいただきました。中には、メンバーの方にとってあまり触れられたくない部分や、福祉として専門的な部分もありましたが、メン



バーの方も見た目にはそれに動揺することも無く、落ち着いてきちんと丁寧に答えられていたように思います。

講座が終わり、二人きりの帰りの車の中達成感で高揚した笑顔とキラキラとした目はうらはらに、言葉ではもうやりたくないですと何度もいつていたメンバーの方の雰囲気が強印象に残っています。

では、当日講演していただいたメンバーの方の感想を掲載して、報告を終わらせていただきます。(六車)

生まれて初めての講演

～正直な思いを精一杯ぶつけることができました～

生まれて初めての講座を無事終えて正直ホッとしています。

一ヶ月ほど前に今回のお話をいただき論文の作成をスタートさせましたが、過去の自分を振り返るといところから翔夢を中心とした現在の生活、そしてこれからの未来を見据えていくという作業にとっても苦労しました。

文章を作ること自体小学生以来のことで強迫性障害を持つ僕にとっては文字通り強迫との戦いでした。それでも職員さんにフオーをしてもらいながら何とか文章も完成し当日に挑みました。

会場に入るまでは不思議と緊張はしていなかったのですが、やはりその場の雰囲気にもまれてしまい、いつきに緊張が高まりました。

事前の説明では、最初の一時間を他の作業所さんが、あとの一時間をハートネットが講演する予定だったのですが、直前に

なつて順番が逆になり気持ちの準備をする間もなく、汗ばんだ手でマイクを握ることになりました。

当事者である僕から話をはじめ、その内容にあわせて職員さんが支援のあり方などの説明をする形で講演は進んでいきました。

練習ではどうしても早口になりがちだったので、できるだけ丁寧に一言一言をかみしめながら話をするように心掛けましたが、思うように舌がまわらず何度も読み直したりと失敗も沢山しました。ですが、質疑応答での答弁も含めて、今の自分の正直な思いを聴いてくださっていた皆さんに精一杯ぶつけることができたと思っています。

貴重な経験ができ本当に良かったと思っていますが、一度で十分な経験となりました(笑)

なつて順番が逆になり気持ちの準備をする間もなく、汗ばんだ手でマイクを握ることになりました。

当事者である僕から話をはじめ、その内容にあわせて職員さんが支援のあり方などの説明をする形で講演は進んでいきました。

練習ではどうしても早口になりがちだったので、できるだけ丁寧な一言一言をかみしめながら話をするように心掛けましたが、思うように舌がまわらず何度も読み直したりと失敗も沢山しました。ですが、質疑応答での答弁も含めて、今の自分の正直な思いを聴いてくださっていた皆さんに精一杯ぶつけることができたと思っています。

貴重な経験ができ本当に良かったと思っていますが、一度で十分な経験となりました(笑)

お仕事おまかせください!

翔夢では、メンバーの障害に応じて、パソコンを使っての各種作業や軽作業などを分担しています。



- 各種データ入力
- 名刺・チラシ
- インターネット検索
- ホームページ制作・更新
- 組み立て作業
- 袋詰め作業 など

お気軽にご相談ください

NPO法人 翔夢 ドリームネット TEL 06-6760-6181 担当：石井

ジョイネット第二施設の とりくみについて

前号でジョイネット第二施設の説明はしましたが、今回は一日の流れや取り組みを紹介したいと思います。

午前中は一時半よりミーティングをして朝の取り組みに入ります。午後

は日々のプロگرامに沿った取り組みをしています。

体を動かす取り組みとして

ジョイ2では室内ではゴムボールを使ったり、卓球をしています。皆さん真剣で汗をかきながら必死でプレーしています。また、室外では近くの公園へ行きドッチボールやバレーボール、時にはなつかしい遊び・鬼ごっこをすることがあります。体を

思いっきり動かしている皆さんの顔は少年少女の頃のようなとてもいい表情（笑顔）をされています。

まだスタートしたばかりのジョイネット、地域貢献活動のごみ拾いにも力を入れていきます。が、行くときに限って雨が降ったりと出鼻をくじかれるこ

取り組みに参加している

利用者の方の感想です

日ごろ運動が出来ないので体を動かす取り組みが好きです。はじめは、話にくかったメンバーさんも居ましたが、取り組みを通して接していく中で見た目とは違う優しい部分に分れ、友だちになることが出来ました。これからも笑いの絶えないジョイ2にしていきたいと思います。

鈴木 友宏 さん

とがあります。地域の人に愛される施設にしていくためにも地域のお役にたてるようにがんばっていききたいと思います。

もつともつとすばらしいジョイネットを・・・と思ってくださっている利用者さんの声も拾ってみました。

（鎌田）

みんなが非常に優しく明るい。一日一日がすごく短く感じます。また一人ひとりの個性があり障がいを持っていても明るく賢い面がとて多く学ぶことはたくさんあります。本当に楽しいですよ。

佐久間 豊さん

それぞれの障がいの人がいて、全員の取組参加がむずかしい事があります。参加している人は一生懸命積極的にやっています。その中で最初バラバラだった場が最近一



にまとまりつつあるように思います。これはジョイにとつてかなりの成果でしょう。もつとこれを継続していければ取組の幅もいっそうひろがると思いますが。取り組みが終わって食事の準備のときや、終礼が終わって掃除をしていく時とか、前までは流れのままにしていたのが最近では皆自主的に役割分担が出来てきていてまとまってきたいるなあと思っています。

徳地 秀一さん

メンバー紹介

翔夢の施設を利用されているメンバーの方をご紹介します

は熱く、「働くのは好きなんですね」とはにかみながらもさらっとかっこいいことを言ってくれます。そんな彼がこの春から、「やっぱり、働こうと思います」とできるだけハートへ顔を出し、いままで

が、少しずつジョイネットにも馴染め周りのお友達と会話をしたり冗談を言い合って笑ったりと楽しく過ごされる様になりました。ジョイネットでの取り組みにも笑顔で参加される様になり、



ビーズ大好き!!
高上 恵子 さん

通所された当時はなかなか馴染めずいつも昼には帰られていました。最近ではハートネットでも作業される様になり、慣れないなかでも一生懸命作業を頑張っておられました。少し前にケガをされて今はハートネットの作業の方はお休みされ、ジョイネットのビーズ作りに専念されています。作品の方も頑張っていています。作品の方も頑張っていて、沢山作って行くうちに上手に出来る様になり、今ではステキな作品が出来上がっています。

(文：魚谷)

ふれあい、また、多くの友人が出来ました。いろんな事をしゃべったり、また、相談に乗ったりして、二年と三カ月になりました。まだまだ数多くのことを自分の勉強だととらえて、毎日が勉強だと思っって一生懸命になっって毎日を過ごしています。中でも一番印象に残ったことは、心から何でも話し合える友人が多く出来たことです。これからもNPO法人翔夢で数多く

働くことが好き!!

中谷 暢之 さん

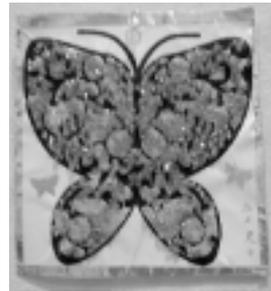


中谷さんです。しかし社会適応訓練でプール清掃に行っているため、こちらへ来る日が限られないでいました。仕事への思い

以上に作業に入るようになりました。この部屋で過ごすことが多くなり、喋りながらの仕事は訓練と違い息抜きになっっているのかも知れません。また回りのメンバーさんたちも、きさくにちよっととぼけながら話しかけてくれる中谷さんと楽しみながらすごしています。

(文：安河内)

中でもビーズの作品作りにはすごく興味を持たれ積極的にビーズ作りをされています。初めはうまく出来ない事が多く途中で投げ出しそうになられたりしましたが、それでも最後まで頑張っって作品を完成させると、「出来た！出来た！」と笑顔で喜ばれている姿は天使のようです。



ビーズを貼ってつくりました

絵が得意!!

河田 裕之 さん



私がNPO法人翔夢に来るようになって、もうこの

施設建設募金のお願い

平成22年9月に、就労継続
支援B型事業として開設予定
しております。

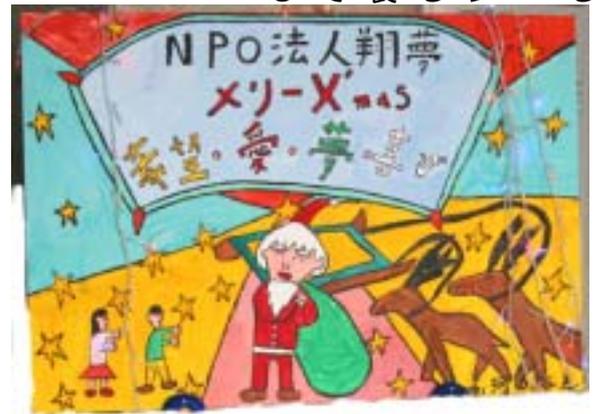
何卒、建設資金にご協力を
お願いいたします

NPO法人翔夢 理事長
西脇 朗夫

のこことを学び、毎日が勉強だと思
ってこれからも取り組んでい
きます。翔夢の友人には本当に
心から感謝しています。数多く
の経験をありがとございま
す。今後ともよろしく願いま
す。
(文：ご本人)

河田さんは絵が得意で、クリ
スマス会のウェルカムボードな
りです。
(文：石井)

ど実に味わいのある
作品を描か
れます。また、メン
バー有志でつくる
「紅合唱団」の団長
でもあり、芸術面
で多彩な能力を發揮し
ています。



河田さんが画いたクリスマスボード

ご協力のおねがい

NPO法人「翔夢」では、取り組み
のひとつとしてアルミ缶のリサイクル
が活動も行っております。平野区近隣
ならばお伺いいたします。

ご協力をお願いいたします。

ご連絡は下記へ。

ハートネット

(06)

6760-5343



3月の収益は

2,295 円でした。

ありがとうございました。

賛助会員入会のお願い

「翔夢」の活動をご理解いただき、賛助会員に入
会をお願いいたします。

募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980-8-317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔 夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔 夢